

**令和4年度  
宮崎県職員採用試験【大学卒業程度（林業）】**

**専門論文試験課題**

**<課題>**

世界的な木材需要の高まりにより、国内への輸入材の供給不足に伴う木材価格高騰の影響がスギ素材生産量、製材品出荷量日本一の本県にも押し寄せています。

本県は、スギを中心とする人工林の約8割が収穫期を迎え、森林路網の整備や高性能林業機械の導入が進み、生産基盤の充実した環境のもと、製材工場の大型化・効率化や木質バイオマス発電施設の稼働等に伴う木材需要の高まりにより、伐採面積が増加しています。

一方で、林業の特徴である広大かつ厳しい地形条件等による低い生産性と労働災害の多発、植栽から収穫までに長期間を要することに加え、野生鳥獣被害による経営意欲の減退や林業従事者の減少、高齢化や後継者不足による労働力不足などが、苗木生産や伐採後の再造林、その後の育林に至る川上サイドにおける林業経営の大きな問題となっています。

このような中、本県林業の現状を踏まえた上で、将来、本県の充実した森林資源を有効活用し、持続可能な資源循環型の林業を確立させていくためには、どのような取組を進めていくべきか、あなたの考えを述べなさい。